

足立区立第四中学校
校長 五明早苗 様

令和7年3月11日

足立区立第四中学校開かれた学校づくり協議会
会長 高田 一雄

令和6年度 学校関係者評価書

1. 自己評価全般について

＊チーム四中に敬意＊

本校は区学力調査において高いレベルの成績を確保していることは、評価できます。この結果は「勉強するのが当たり前の学校である」こと「論理的な思考力」の発信で生徒の意識が向上したことによります。さらに、学習ウィークの取り組みの反映、総合的な言語活動の積み重ねが結果につながっています。

教員が新学習指導要領で求められている「主体的・対話的で深い学び」を目指してきた効果です。

どのような状況においても、校長、副校長はじめ各教職員が生徒のために最善の努力と行動で乗り越えて、健全な授業を実践してきたチーム四中に敬意を表します。

＊コミュニティ・スクールの役割＊

本校は学校運営協議会の設置されたコミュニティ・スクールです。その機能を有効に使い学校を応援し、学校経営計画の承認等を学校と共に運営します。教育委員会は学校運営協議会の機能の順守に尽力してください。

＊夜間学級設置校＊

都内で8校です。個別対応が必要な生徒に対し丁寧に対応しています。入学希望生徒が年々減少している現状では、今後の広報活動の取り組みが必要です。

2. 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」

令和6年度の重点的な取組事項

重点的取り組み事項ー1 「学力向上アクションプラン」

A 今年度の成果目標は＜確かな学力の定着と知的好奇心や自己肯定感をはぐくむ指導の充実＞で、

●達成基準●が令和6年度区調査の目標正答率70%、目標通過率75%とする。

◆実施結果◆では3教科の平均通過率は85.5%で区の平均通過率を超えました。

評価できます次年度につなげてください。

B 目標実現に向けた取り組み

上記アクションプランとして、

＊＜学習ウィーク＞で

●達成目標●は月1回を学習ウィークとし毎朝の朝学習は全校英語または数学とし、週末の放課後に確認テストを行い全員合格を目指す。

◆実施結果◆は確認テストが不合格だった生徒も、概ね合格することができた。今後も継続してください。

＊＜自主的な家庭学習への取り組みを促す指導＞で

●達成目標●全生徒に授業の受け方や家庭学習のポイントを解説した「各教科の学習法」を配布し、家庭学習に取り組むようにさせる。

◆実施結果◆各教科の学習法を予定通り配布し、全体的に意識付けを図り活用させることができた。宿題がなくても自主的に家で学習する生徒は評価できます。今後はタブレットを活用した家庭学習に移行していく方向です。

＊＜放課後学習教室＞で

●達成目標●定期考査前に定着が不十分な内容の振り返りを行う。今年度より学習ウィーク外の補習授業を増やし5教科実施する。

◆実施結果◆5教科実施できた。学習ウィークと並行して国語・理科・社会の放課後補充を実施した。今後も継続してください。

＊＜サマースクールの実施＞で

●達成目標●夏季休業日に当該年度の前半期の学習のつまづきを 7 日間、5 教科実施する。

◆実施結果◆は予定どおり実施できた。今後に期待します。

＊＜論理的な思考力の向上＞で

●達成目標●論理的思考を進めるために必要な発言ルールと論理的思考を進めるための思考スキルを各教室に掲示し 4 月の活用率 80 %以上とする。

◆実施結果◆概ね活用できた。今後も継続してください。

＊＜各種検定＞で

●達成目標●希望生徒に英検・数検・漢検を年 3 回実施する。

◆実施結果◆予定どおり実施できた。

＊＜教員の指導力の向上＞で

●達成目標●授業の始めに「めあて」や「学習課題」を示して学習活動の見通しを示して肯定的評価 80 %以上とする。

◆実施結果◆年度末のアンケートの肯定的評価は 8 割でした。更に徹底を図ってください。学年、教科でバランスを保ってください。

●達成目標●生徒の興味・関心や自己肯定感を高める指導の工夫を行う。

◆実施結果◆勉強は好きと答えた生徒が 4 月時と変化なしでした。さらに工夫を図ってください。

●達成目標●小中連携研修を年間 7 回行う。

◆実施結果◆年 7 回実施でき効果的な授業連携を実施できました。

＜タブレット端末の効果的な活用＞

●達成目標●全教員の具体的な活用例を集約し共有する。

◆実施結果◆全教員がタブレットを使った授業ができたことは評価できます。

重点的取組事項― 2 「生きる力を育む教育活動の充実」

A 今年度の成果目標は＜キャリア教育の求める汎用的能力の向上と不登校の組織的な対応の充実を図る。＞

●達成基準●学校生活アンケートの基本的な生活の項目に対する肯定的な回答を80%以上にする。

◆実施結果◆質問項目に対する肯定的な回答が80%でした。学年により偏りのないように検討してください。

B 目標実現に向けた取り組み

＊＜課題対応能力・自己理解・自己管理能力の育成＞で

●達成基準●学校生活アンケートの「学校生活に主体的に参加している」（委員会活動や学級活動、学校・学年行事、部活動など）の肯定的な回答を80%以上にする。

◆実施結果◆主体的に取り組んでいるとの肯定的回答は9割以上でした。運動会・学芸発表会・合唱コンクールなどの行事で実行委員会が主体的に運営する本校の伝統を継承している事は評価できます。

＊＜人間関係形成・社会形成能力の育成＞で

●達成基準●は学校生活アンケートの「コミュニケーションスキルやチームワークに関する項目で、肯定的な回答を80%以上にする。」

◆実施結果◆は肯定的な回答が90%超えました。今後も継続してください。

＊＜キャリアプランニング能力の育成＞で

●達成基準●学校生活アンケートの学ぶことや働くことの意義に関する項目で、肯定的な回答を80%以上とする。

◆実施結果◆肯定的な回答は78.4%となった。将来を見通したキャリア教育を推進し、時代に合わせて毎年計画を見直すことを検討してください。

＊＜不登校の組織的な対応の充実＞で

●達成基準●月1回の「心の声」、いじめアンケート（区年3回）及びQU（2回）の実施をサポートルームの定期的な開設と校内委員会を充実させる。

◆実施結果◆毎月「心の声」として生徒アンケートを実施し、いじめアンケートQUの結果とともに生徒の実態の把握に努めた。校内委員会を週1回実施し、外部機関と連携しながら不登校対応を行った。

不登校等の問題は家庭教育を見直す必要があります。この問題は学校のみでなく開かれた学校づくり協議会の課題でもあります。今後は学校・家庭・開かれた学校づくり協議会でこの問題の対応を検討すべきです。

重点的取組事項― 3 「社会に開かれた教育課程の推進」

A 今年度の成果目標は、＜保護者・地域・外部機関との連携を図り社会に開かれた教育課程を推進する。＞

●達成基準●学校運営委員会（学校運営協議会）を年6回開催し、開かれた学校づくり協議会は年5回以上開催する。

◆実施結果◆は学校運営委員会（学校運営協議会）が予定通り実施された。開かれた学校づくり協議会も予定どおり行われた。学校・保護者・地域との連携を深めました。

B 目標実現に向けた取り組み

＊＜学校評価の工夫・改善による充実した教育活動を展開＞で

●達成基準●重点的な取り組み項目を概ね達成させる。

開かれた学校づくり協議会には以下の部会があり、月1回の朝の挨拶運動・道徳地区公開講座（土曜事業部会）・中1ギャップのアンケート調査（小中連携部会）・広報部会は今年度広報紙を2回発行する。家庭教育部会は年末に弥生小学校開かれた学校づくり協議会と連携し、クリスマスコンサートを開催し交流を深めました。評価部会は教員との意見交換会を行う。保護者部会はPTA・保護者の代表として学校、生徒の課題を共有していきます。更に、開かれた学校づくり協議会は校長から提出された自己評価書に基づいた学校関係者評価書を作成し、強力な学校の支援組織として活動していきます。

◆実施結果◆挨拶運動は予定どおり実施されました。中1ギャップアンケート調査は予定どおりに行われて、生徒の気持ちの変化を理解する上で学校への良い資料となった。他の部会も計画通り行われました。

学校運営協議会設置校として学校から運動部の部活指導者を探して欲しいとの要望があり、迅速に対応し現在、部活指導者の健全な指導の下、活発に運営されています。学校の要望に応えることが出来ました。

＊＜地域の力を活用した生徒の健全育成＞で

●達成基準●地域行事へ生徒を延べ100人派遣し、地域関係者の指導を得る機会にする

◆実施結果◆地域の子供会や地少協の行事に派遣し、地域の伝統文化体験、吹奏楽部の演奏会等で延べ約100名の生徒が参加した。生徒は充実感をもって活動していました。今後も継続してください。

＊＜学校の教育方針・教育活動の発信と情報提供＞で

●達成基準●年３回の学校説明会、年間１０回の学校だよりを発行し HP は毎日の更新を行い教育活動への理解を深め、家庭教育の一助とする。

◆実施結果◆学校説明会や学校だよりの発行、HP で学校の様子を伝えた。教育活動の情報発信を継続してください。今後、データと紙ベースの情報発信のバランスを検討してください。

重点的取組事項―４「夜間学級の教育の充実」

A 今年度の成果目標は、＜生徒一人一人の事情や学習の状況を踏まえた教育活動を充実させる。＞

●達成基準●環境への円滑な適応を図るとともに、個に応じた指導の工夫も図り８０％以上の肯定的評価を得る。

◆実施結果◆８０％以上の肯定的評価を確認できた。今後も継続してください。

B 目標の実現に向けた取組み

＊＜学習活動の充実＞で

●達成基準●生徒一人一人の事情や学力の状況を踏まえた個別指導を行い、相談機関での面談等で８０％以上の肯定的評価を確認する。

◆実施結果◆生徒個々の状況に応じた指導ができました。今後も指導の充実を推進してください。

＊＜特別活動の充実＞

●達成基準●学校行事や夜間学級連合行事へ８０％以上の生徒が参加するようにする。

◆実施結果◆都内夜間学級７校で連合行事、文化祭、宿泊学習を実施できた。学校行事は、ほぼ全員が予定通り行われ生徒同士の交流や集団に貢献する態度が養われた。

＊＜夜間学級への理解を深める広報活動＞で

●達成基準●区内中学校への広報活動の充実と形式卒業者の受け入れを進める。

◆実施結果◆広報活動として区内公立中学校３４校を訪問したり近隣の駅に入学案内チラシを置いてもらったことは評価できます。更に、教育活動について理解を深める活動を継続してください。

＊＜GIGA スクール構想の推進＞で

●達成基準●全教員が一人 1 台のタブレットを効果的に活用した授業を行う。

◆実施結果◆GIGA スクール構想の推進を図るチームを設け、研修を実施して授業に生かした。教員全員が研修に参加し、一人 1 台のタブレットを効果的な活用をしてください。

3, その他

＊チーム四中の教育力＊

校長、副校長はじめ各教職員が生徒のために最善の努力と行動で、健全な授業を行っています。この様なチーム四中に敬意を表します。「開かれた学校づくり協議会」「学校運営協議会」で応援してバックアップしていきます。

更に、本校には意識の高い生徒が在籍していることも一因です。

来年度もチーム四中の学校運営に期待します。

＊コミュニティ・スクールの存在力＊

本校は学校運営協議会設置校として、2011年11月1日にコミュニティ・スクールに指定されました。区立小学校67校、中学校35校のうち、コミュニティ・スクールの指定校は13校のみです。その機能は、学校経営計画・予算の承認、教員の任用について教育委員会に意見を述べることができます。この機能を順守されることが、今後のコミュニティ・スクールの拡大につながります。学校運営協議会設置校は地域とともにある学校です。学校運営協議会は学校の要望に応じて、学校と一体となり、学校運営を行っています。

＊開かれた学校づくり協議会の力＊

本校の開かれた学校づくり協議会には、評価部会・家庭教育部会・土曜事業部会・小中連携部会・広報部会・保護者部会が設置され活動しています。更に、近隣小学校と連携し子どもたちの安全と学力の向上に貢献していきます。

＊夜間学級の力＊

本校には夜間学級（都内に8校）が設置されています。さまざまな事情で義務教育を、十分に受けられなかった生徒が学んでいます。開かれた学校づくり協議会としても支援していきます。

伝統ある第四中学校の一層の学力向上を目指して、教育委員会・学校・保護者・地域が、それぞれの協創力を発揮して学校運営に参画していきます。

(凡例)

●達成目標●・●達成基準●

◆実施結果◆